

日本リサーチセンター・NOS自主調査 和食についての調査

株式会社 日本リサーチセンター (Member of Gallup International Association)



代表取締役社長 鈴木 稲博

東京都中央区日本橋本町2-7-1 電話: 03-6667-3400(代) / FAX: 03-6667-3470

(担当: 日本リサーチセンター自主調査委員会) <http://www.nrc.co.jp/>

■日本リサーチセンター(NRC)では、

全国15～79歳男女1,200人を対象に、訪問留置のオムニバス調査(NOS)を、毎月定期的を実施しております。

1月のNRC自主調査のテーマは、「和食」です。

■背景と目的

ユネスコの無形文化遺産への登録が決まり、今、あらためて「和食」に関心が集まっています。

日本人が考える「和食」のイメージとは、どのようなものでしょうか。

今回の調査では、和食へのイメージや意識などを把握すると共に、実際にどこで食べられているかを見ました。

■主な結果の紹介は以下の通りです。

・和食の無形文化遺産登録については・・・

「知っている」と答えた人が7割。また、「登録されてうれしい」で、「あてはまる」+「ややあてはまる」と答えた人は、8割。

・和食のイメージは・・・

「家でよく食べる」「季節感や旬がある」「体によい・ヘルシー」「自然な感じ」「安心・信頼できる」「素材の味をいかせる」が、8割以上と特に多い。これらは他の食事(洋食、中華、エスニック)と比べても、評価差が大きく、和食の優位イメージといえる。

・和食に対する意識を「あてはまる」+「ややあてはまる」の比率でみると・・・

「洋食よりも、和食の方が好きだ」では、半数を超えて7割強と多いが、「肉料理より、魚料理の方が好きだ」は4割強と下がる。

「ふだんの家の食事は、和食のメニューが多い」では、6割強と多いが、「お店で食べる時(外食時)は和食のメニューが多い」は3割と下がる。

・和食を食べるところは・・・

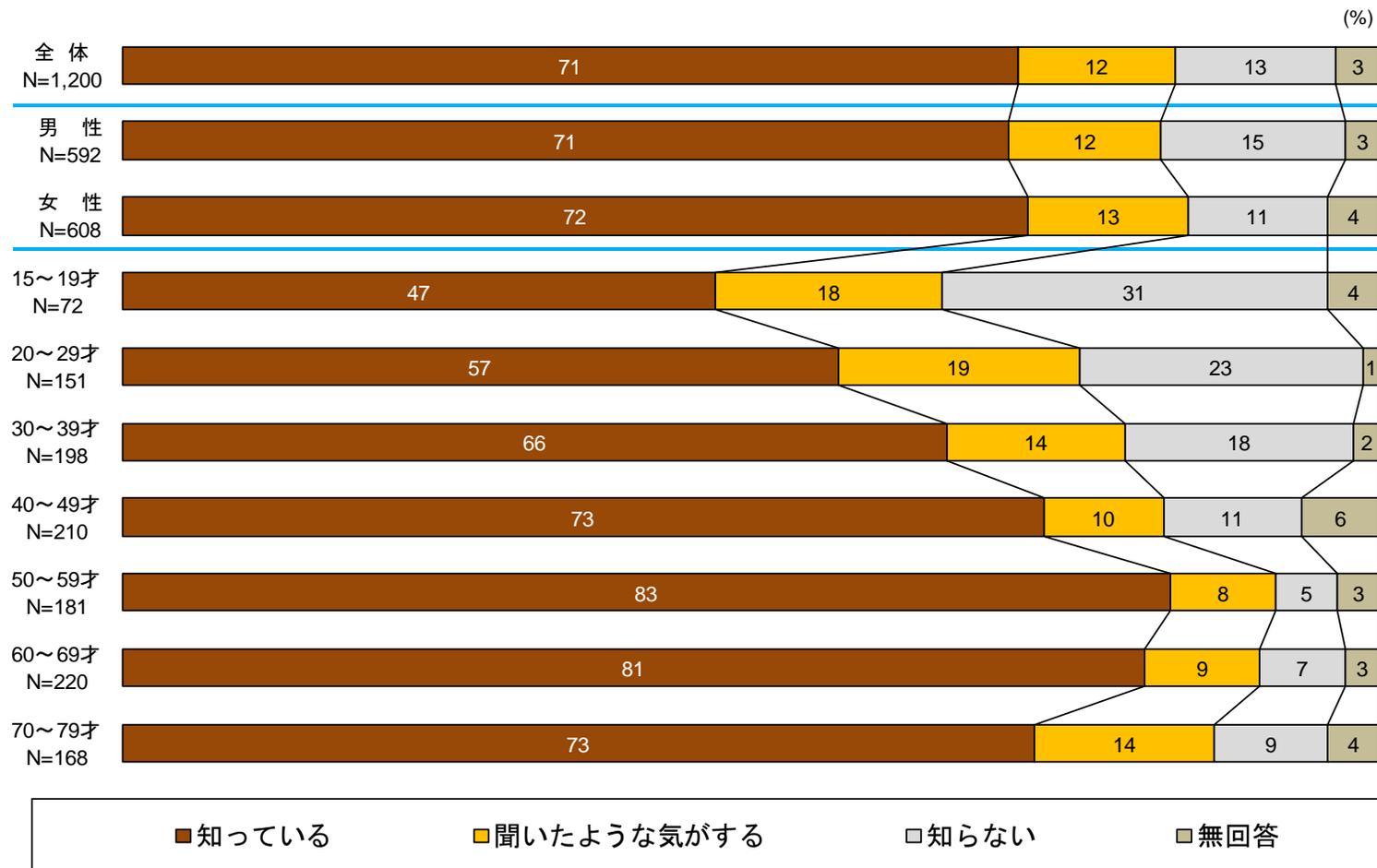
「家で手作りのものを食べる」で特に多いのは、「味噌汁」「焼き魚」「肉じゃが」で、9割を超えている。「スーパーやコンビニで売っているものや弁当」(中食)では、「刺身」が最も多く、6割。「お店で食べる(外食)」では、「お寿司」が最も多く、8割弱。

- 和食の無形文化遺産登録の認知は？ 3
- 和食は世界に誇れる食文化だと思うか？ 4
- 和食の無形文化遺産登録はうれしいか？ 5
- 海外で和食や日本食ブームになるのはうれしいか？ 6
- 和食のイメージは？ 7
- 和食に対する意識は？ 8
- 和食が好きと和食の頻度が多いのは？ 9
- 和食を食べるところは？ 10
- 和食を食べるところ、20代と70代の違いは？ 11
- 調査概要 12

和食の無形文化遺産登録の認知は？

- 2013年12月に、和食がユネスコ無形文化遺産に登録が決まったことについては、全体では、「知っている」と答えた人が7割。
- 男女では大きな差がないが、年代別では、「知っている」が最も少ないのは10代で5割以下に対し、最も多いのは50代と60代で8割以上。

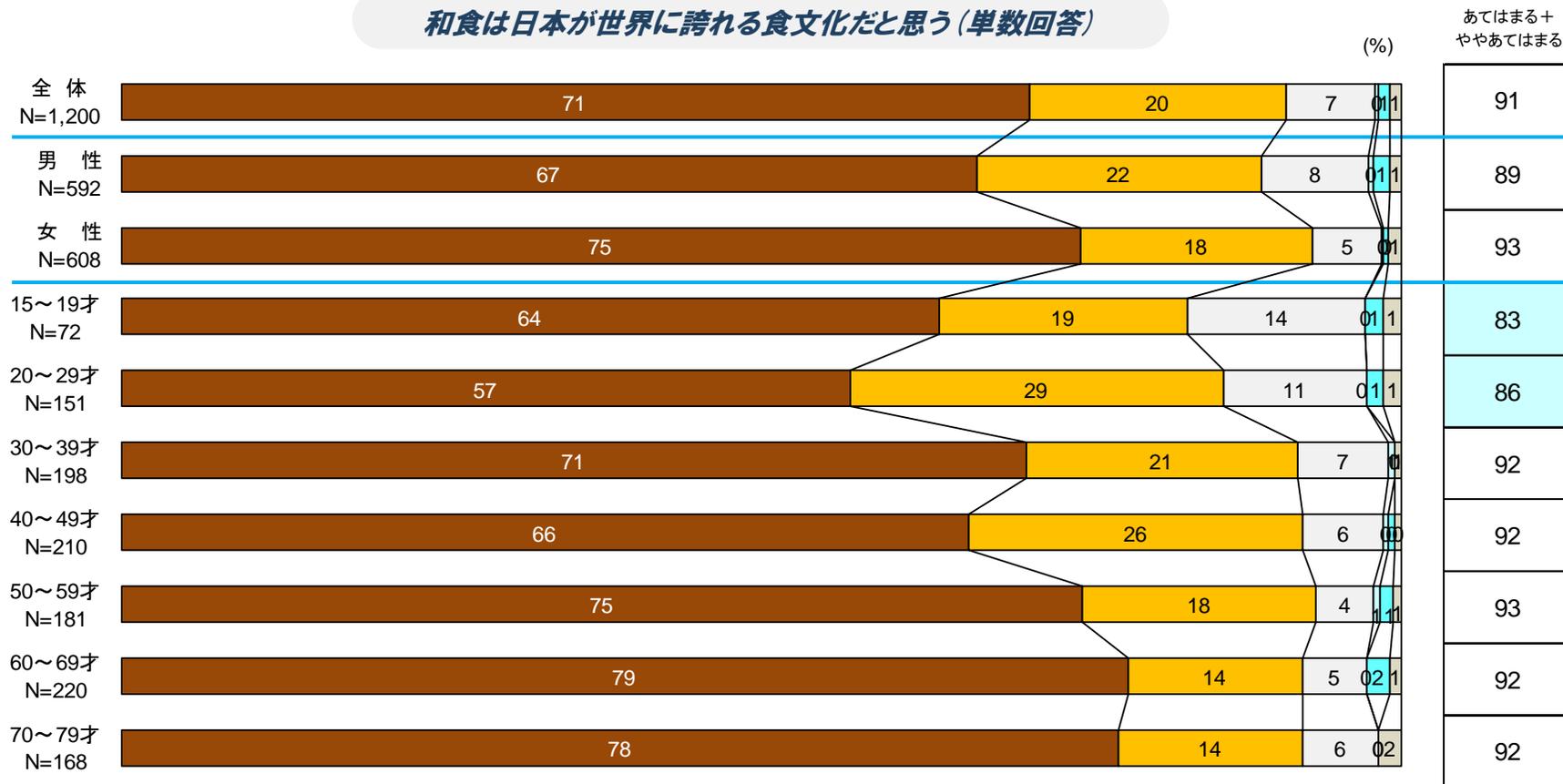
2013年12月に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことの認知（単数回答）



和食は世界に誇れる食文化だと思うか？

- 「和食は日本が世界に誇れる食文化だと思う」かを、「あてはまる」から「あてはまらない」の5段階で質問した。
- 全体では、「あてはまる」は7割、「あてはまる」+「ややあてはまる」は9割である。
- 性別でみると、「あてはまる」、「あてはまる」+「ややあてはまる」ともに女性が多い。
- 年代別でみると、「あてはまる」+「ややあてはまる」は、30代以上では9割以上。

和食は日本が世界に誇れる食文化だと思う(単数回答)

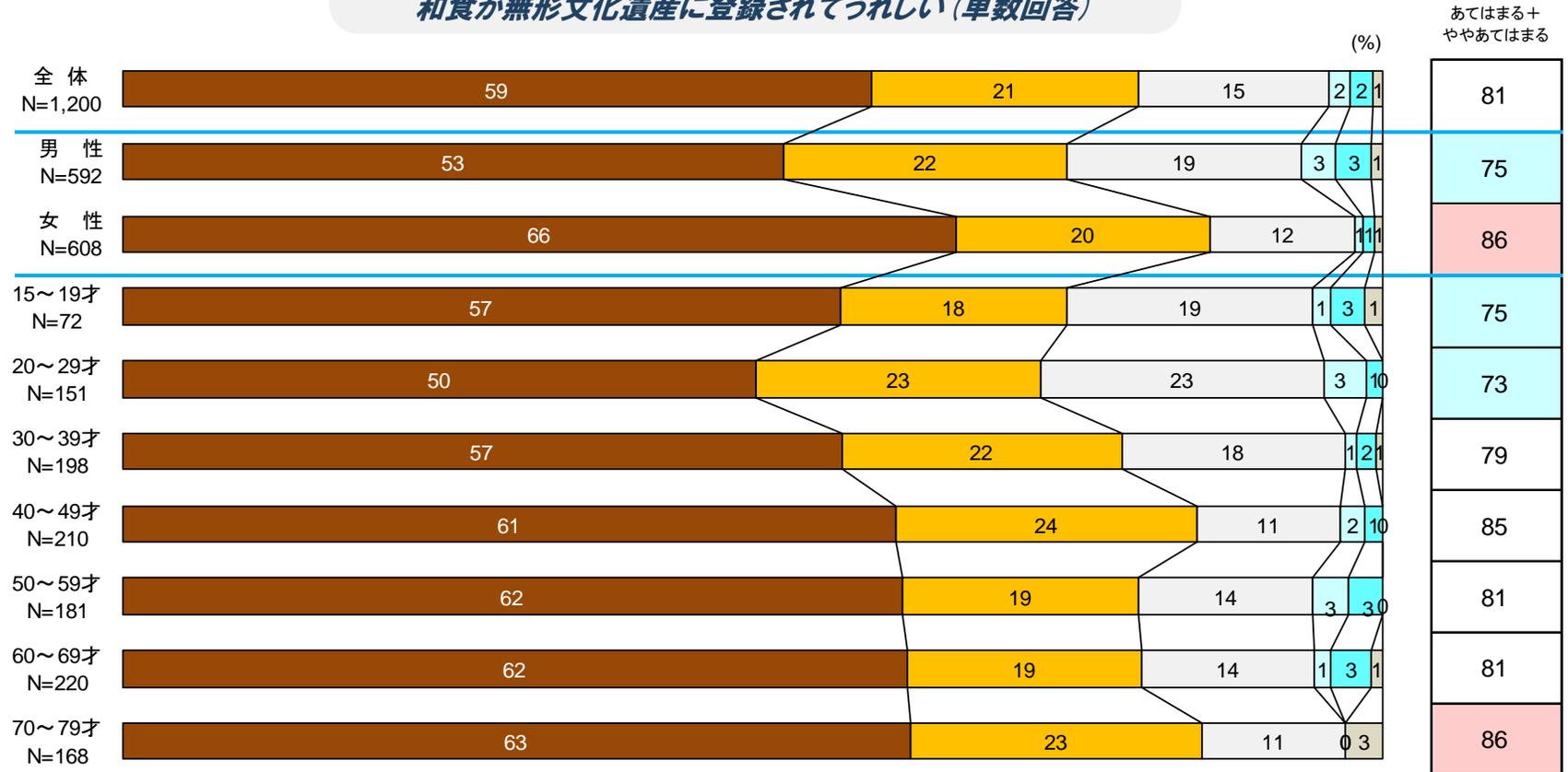


■ あてはまる
 ■ ややあてはまる
 □ どちらともいえない
 □ あまりあてはまらない
 □ あてはまらない
 □ 無回答

和食の無形文化遺産登録はうれしいか？

- 「和食が無形文化遺産に登録されてうれしい」は、全体では「あてはまる」は6割、「あてはまる」+「ややあてはまる」は8割である。
- 性別では、「あてはまる」、「あてはまる」+「ややあてはまる」ともに女性と男性で10%以上差があり、女性の方が多い。
- 年代別でみると、「あてはまる」+「ややあてはまる」は40代以上で8割以上。

和食が無形文化遺産に登録されてうれしい(単数回答)

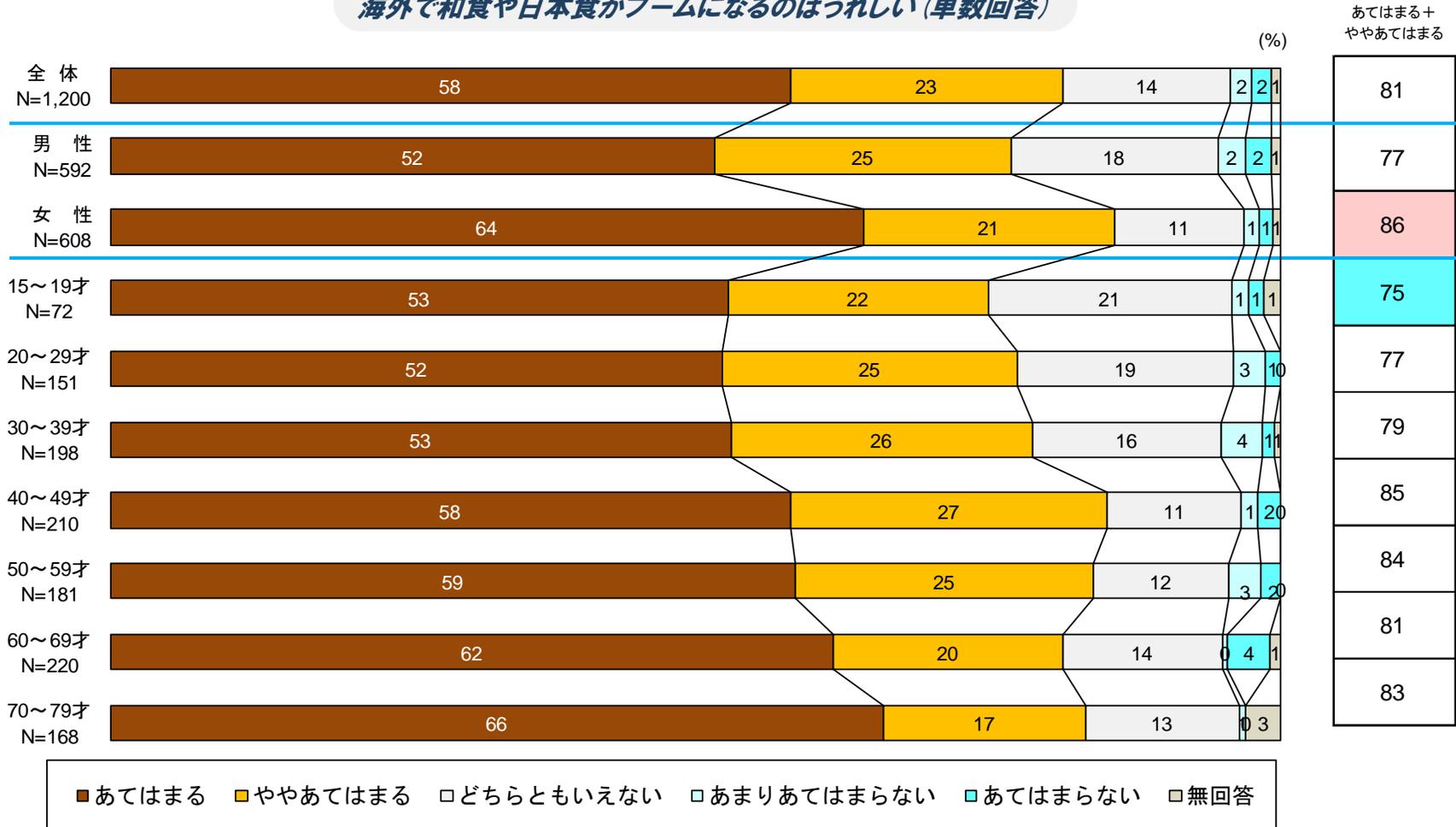


■ あてはまる
 ■ ややあてはまる
 □ どちらともいえない
 □ あまりあてはまらない
 ■ あてはまらない
 □ 無回答

海外で和食や日本食ブームになるのはうれしいか？

- 「海外で和食や日本食がブームになるのはうれしい」は、全体では「あてはまる」は6割弱、「あてはまる」+「ややあてはまる」は8割である。
- 性別では、「あてはまる」、「あてはまる」+「ややあてはまる」ともに女性が多い。
- 年代別でみると、「あてはまる」+「ややあてはまる」は40代以上で8割以上。

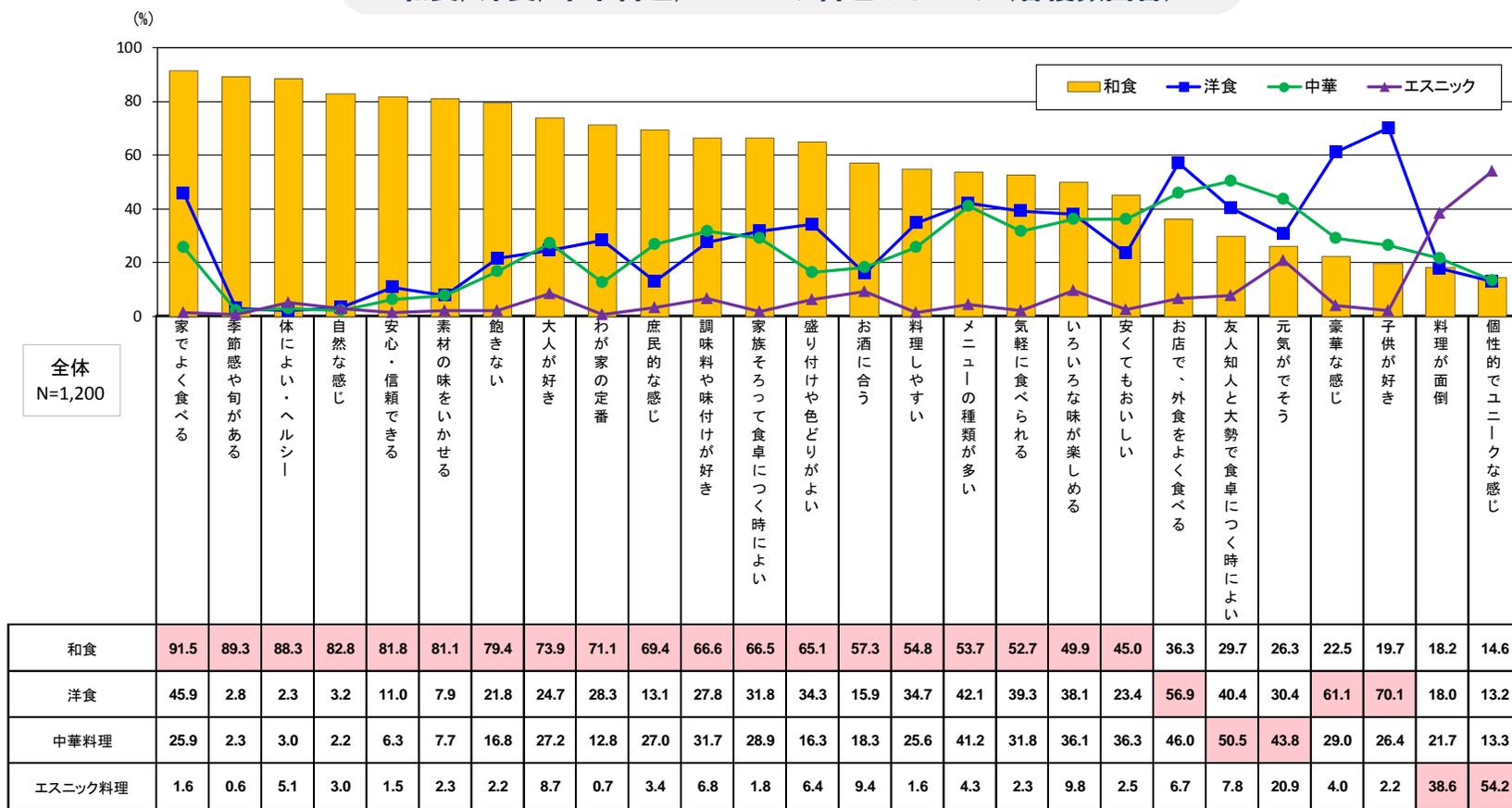
海外で和食や日本食がブームになるのはうれしい(単数回答)



和食のイメージは？

- 和食のイメージを、洋食/中華料理/エスニック料理と比較してみた。
- 和食は、他の3つの食事と比較して高いイメージが多く、ほとんどの項目でトップイメージになっている。
- 「家でよく食べる」で9割を超え、「季節感や旬がある」「体によい・ヘルシー」「自然な感じ」「安心・信頼できる」「素材の味をいかせる」が8割以上と、特に評価が高い。
- 一方、洋食は「子供が好き」「豪華な感じ」「お店で、外食をよく食べる」、中華料理は「友人知人と大勢で食卓につく時によい」「元気がでそう」、エスニックは「個性的でユニークな感じ」「料理が面倒」が、他の食と比較してトップ。

和食/洋食/中華料理/エスニック料理のイメージ(各複数回答)



※和食のイメージが高いもの順に並び替え

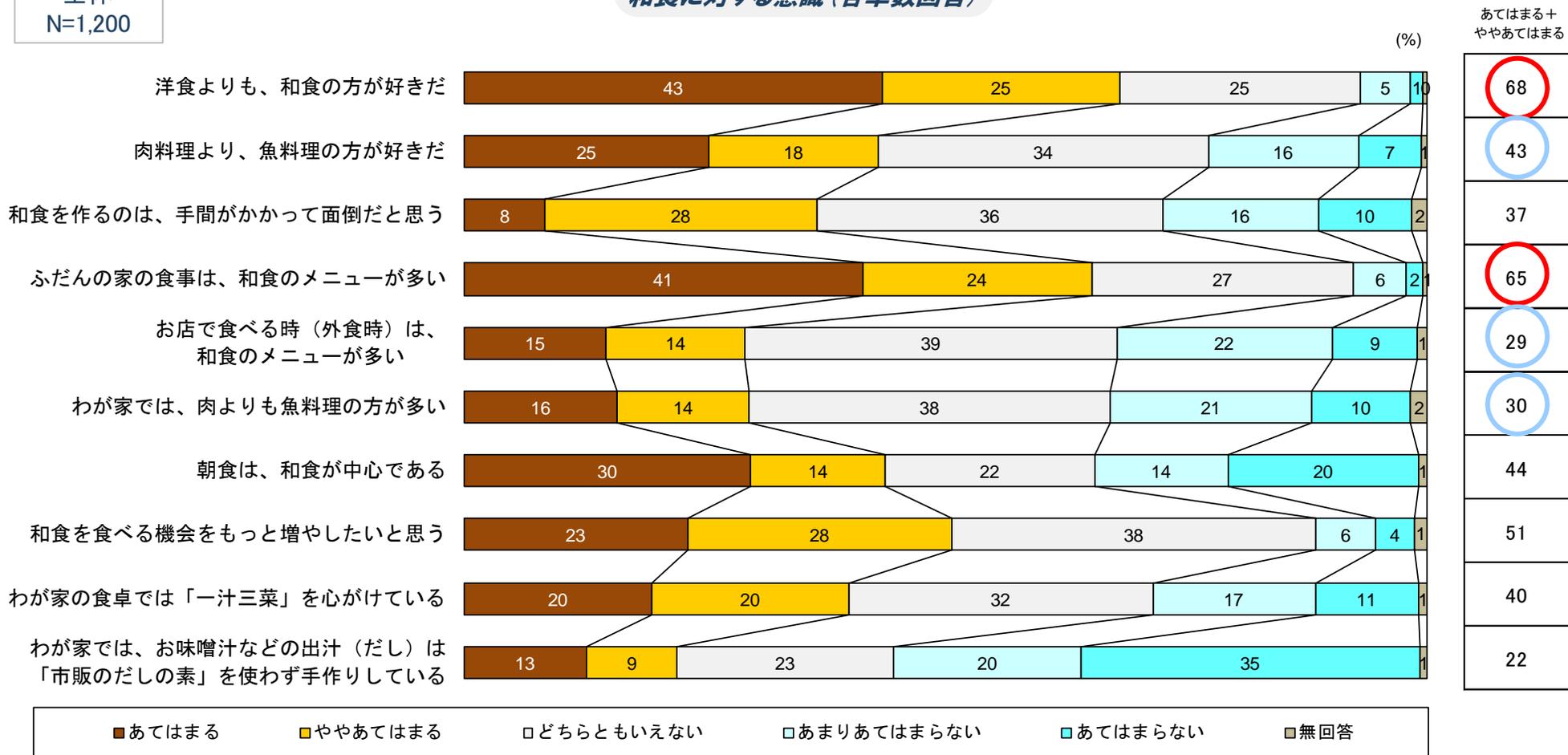
■・・・4つの中で最も高いもの

和食に対する意識は？

- 和食に関する意識を、「あてはまる」から「あてはまらない」の5段階で質問した。「あてはまる」+「ややあてはまる」でみていくと・・・
- 「洋食よりも、和食の方が好きだ」は7割弱と多いが、「肉料理より、魚料理の方が好きだ」は4割強と少ない。
- 「ふだんの食事は、和食のメニューが多い」では6割強と多いが、「お店で食べる時(外食時)は和食のメニューが多い」と、「わが家では、肉よりも魚料理の方が多い」は3割と少ない。

全体
N=1,200

和食に対する意識 (各単数回答)

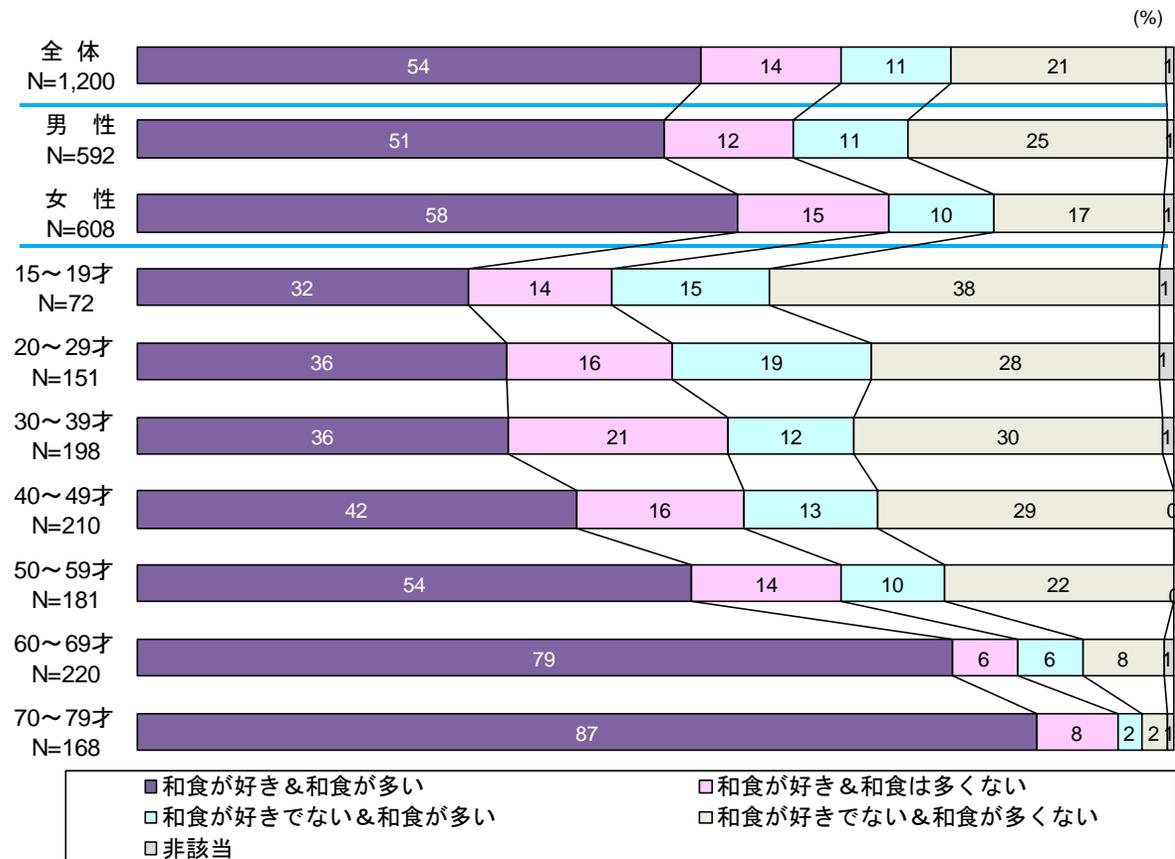


和食が好きと和食の頻度が多いのは？

- 「洋食よりも、和食の方が好きだ」と「ふだんの家の食事は、和食のメニューが多い」の2つの設問を使って、以下の4つのセグメントを作成した。
- 全体では、「和食が好き&和食が多い」が54%と最も多い。一方、「和食が好きでない&和食が多くない」は2割。
- 「和食が好き&和食が多い」は、年代とともに上昇する傾向があり、10代は3割強に対して、70代では9割弱に達する。

和食嗜好と和食の頻度

		ふだんの家の食事は、 和食のメニューが多い	
		やあ やて あは てま まる る	ああど てまち はりら まあと らても なはい いまえ らない ない
和食の方よりも好きだ	あてはまる ややあてまる	和食が好き & 和食が多い (54%)	和食が好き & 和食は多くない (14%)
	どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない	和食が好きでない & 和食が多い (11%)	和食が好きでない & 和食が多くない (21%)



和食を食べるところは？

- 和食の主なメニューを提示して、それぞれ家で手作り、中食、外食のいずれかのシーンが多いかを質問した。
- 「家で手作りのものを食べる」で特に多いのは、「味噌汁」「焼き魚」「肉じゃが」で、9割を超えている。
- 「スーパーやコンビニで売っているものや弁当」(中食)では、「刺身」が最も多く、6割。
- 「お店で食べる(外食)」では、「お寿司」が最も多く、8割弱。

ふだん食べる場所(各複数回答)

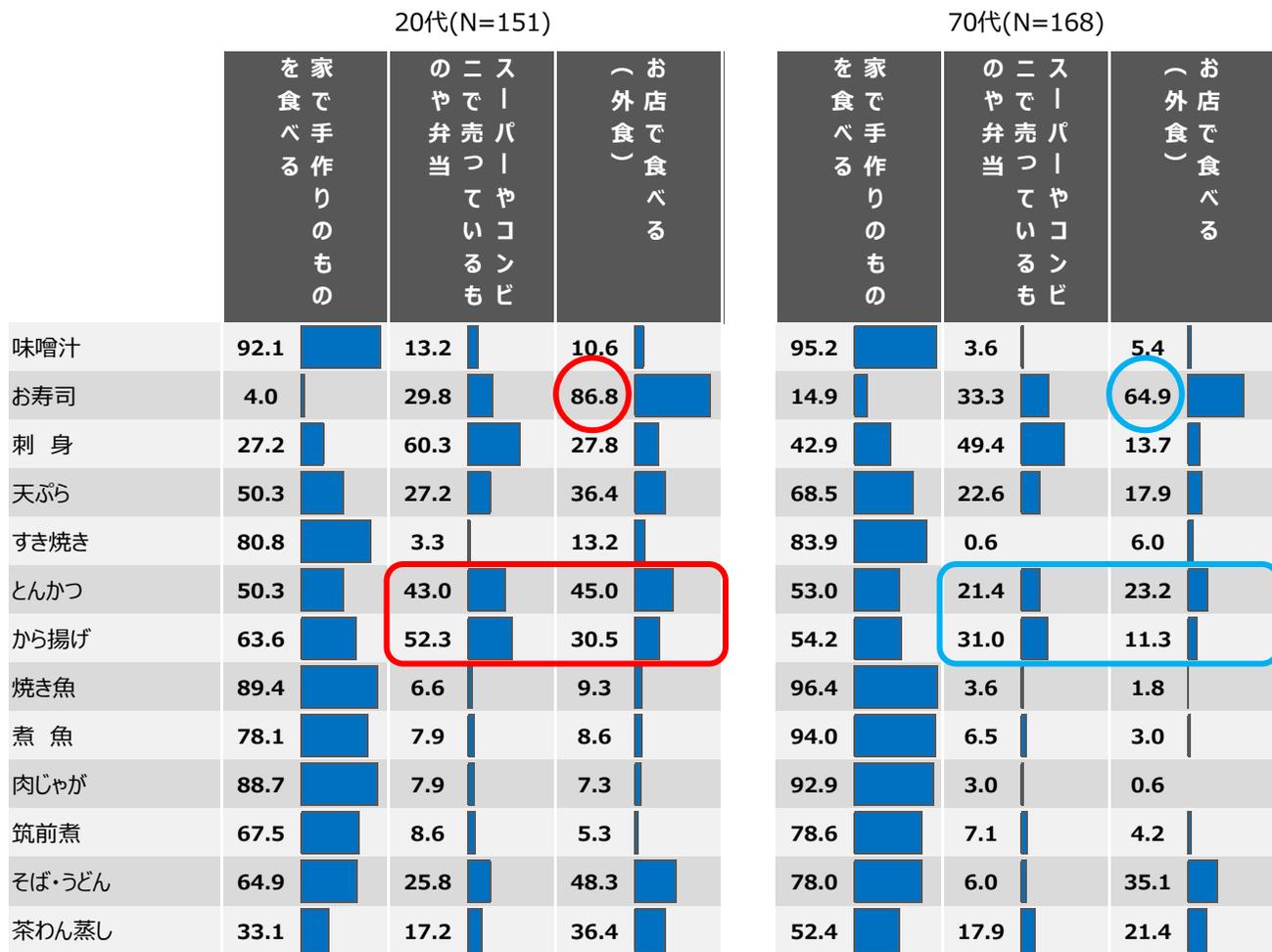
全体 N=1,200	家で手作りのものを食べる	スーパーやコンビニで売っているものや弁当	(外食)お店で食べる	その他	ほとんど食べない	無回答
味噌汁	92.9	7.0	8.6	1.4	1.7	0.3
お寿司	8.4	31.4	76.3	2.8	2.9	0.6
刺身	29.3	59.8	21.3	2.8	4.2	0.9
天ぷら	59.0	25.3	30.3	1.9	6.5	0.8
すき焼き	79.5	2.7	9.3	1.4	11.3	0.7
とんかつ	51.8	31.4	35.3	1.8	6.7	0.5
から揚げ	63.5	40.4	20.8	1.3	3.9	0.4
焼き魚	91.9	5.5	8.3	0.8	1.8	0.4
煮魚	84.4	6.3	8.1	1.3	6.7	0.9
肉じゃが	90.9	4.8	3.4	0.5	3.6	0.6
筑前煮	73.2	9.1	4.3	1.7	14.7	1.1
そば・うどん	71.6	16.3	45.8	1.3	1.1	0.5
茶わん蒸し	39.7	19.6	33.6	1.8	18.0	0.8

(%)

和食を食べるところ、20代と70代の違いは？

- 和食メニューの食シーンを、20代と70代で比較してみた。
- 概して、20代は70代より、「スーパーやコンビニで売っているものや弁当」「お店で食べる(外食)」が多く、「家で手作りのものを食べる」が少ない。
- 「お寿司」については、「お店で食べる」が20代は87%と、70代の65%より20%以上多い。
- 「とんかつ」「から揚げ」は、「スーパー等で売っているものや弁当」「お店で食べる」が、20代は3~5割強と、70代の1~3割強より、それぞれ20%程度多い。

ふだん食べる場所(各複数回答)



(%)

調査方法

- NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイによる毎月調査)
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人

有効回収数

- 1200人(サンプル) ※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付実施

抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当て

調査期間

- 2014/1/8 ~ 2014/1/20

NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式(オムニバス)の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。
調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。